

令和6年度横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会 会議録

日 時	令和6年5月8日（水）10時30分から12時00分まで	
開 催 場 所	市庁舎16階共用会議室、Web会議	
出席者	飯塚 美穂子 委員、片川 智子 委員、佐藤 康富 委員、清水 純也 委員、西 智子 委員、日高 伸一 委員、松田 妙子 委員、吉田 眞理 委員	
欠席者	廣井 雄一委員	
事務局	こども青少年局保育・教育部長、保育・教育支援課長 保育・教育運営課長、保育・教育運営課担当課長 地域子育て支援課長、保育・教育運営課担当係長 地域子育て支援課担当係長、保育・教育支援課事業調整係長 保育・教育支援課担当係員	
開 催 形 態	公開（傍聴者0人）	
議 題	1 委員長及び職務代理者の選出について 2 各分科会委員の指名について 3 各分科会の令和5年度実施報告及び令和6年度実施概要について	
決 定 事 項	1 委員長に吉田委員を選出、職務代理者に西委員を指名 2 各分科会の所属委員を決定	
	発言者	内容
議 事	事務局	【横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会の概要について】 委員会の担当事務、分科会を含めた組織等について資料に基づき説明  委員長及び職務代理者の選出について ・委員からの推薦により、吉田委員を委員長に選出 ＜了承＞ ・吉田委員長から、西委員を委員長職務代理者に指名 ＜了承＞
	事務局	【各分科会委員の指名について】 資料に基づき説明。
	吉田委員長	事務局から、本委員会の概要、分科会の今年度の開催予定状況の説明、分科会の委員について提案があったがいかがか。
	各委員	＜了承＞
	事務局	【各分科会の令和5年度実施報告及び令和6年度実施概要について】 <u>1 横浜市各区地域子育て支援拠点運営法人選定委員会</u> 資料に基づき報告 (廣井委員より事前にいただいたコメント)

		<p>審査において他区の拠点の見学を行っているが、現行の施設を運営している法人を選定する場合には、運営状況を確認するため、現行の施設の見学を検討してほしい。</p>
	事務局	<p>事務局としても、現行の施設を運営している法人から応募があった場合には、現行の施設の見学を行っていきたいと考えている。</p>
	西委員	<p>他法人が運営しているところも見学する事は、非常に参考になる。引き続き見学の機会を大事にしながら、審査の基準に反映できればと考える。</p>
	飯塚委員	<p>西委員と同様の意見。直接見学することはとても大切なので、継続すべき。</p>
	吉田委員	<p>横浜市では、子育て支援拠点の運営法人が固定化してきているため、公平性を保つ意味で、現行の施設を運営している法人の選定の場合には、現行の施設を見学しないという方針だったと思うが、現法人の運営状況を見学し、より良い運営になるよう、意見等をお伝えしたいと思っている。運営法人はそれぞれ、ともしっかりやっているが、毎回同じ法人が選ばれていくということで、新しいことが生まれる機会が削がれてはいけない。同じ法人を選定するとしても、「もっとここのところを」という付帯意見を付け、より良い運営につなげたい。子育て支援拠点は、子どもと養育者との深い関係性を持っているので、法人が変わらない方が利用者は安心するのかもしれないが、せっきくの選定なので、選定が活きる方向になっていけばよいと思う。</p>
	事務局	<p><u>2 横浜市親と子のつどいの広場運営団体選定委員会</u> 資料に基づき報告</p>
	飯塚委員	<p>応募団体数が7件もあり、港北区と青葉区では、同区に各2件応募があるなど、選定が難しかった。団体の実績や今後の継続性、運営や活動が安定して発展していくかという期待を込めながら選定した。団体の法人化など、今後の将来性も含めて選定した。</p>
	松田委員	<p>飯塚委員と同様の意見。つどいの広場は、拠点に比べると、団体の実績も少ないことが多く、場所の選定がセットになっているため、選定が難しい。拠点事業そのものの理解という意味では、拠点であろうと、つどいの広場であろうと、基本事業をしっかり押さえて理解していただかないと、私たちも難しいと感じた。</p>
	事務局	<p><u>3 横浜市乳幼児一時預かり事業事業者選定委員会</u> 資料に基づき報告</p>
	片川委員	<p>一時預かりなので、選定では、子どもが安心して過ごせるか、子どもの安全が確保されるかという質疑応答が多いが、今回の事業者のプレゼンテーションの中では、</p>

		<p>子どもと大人の関係性を尊重して大事にする工夫がたくさん見られた。また、日頃の遊びの中でも、子どもの主体性を大事にする具体的な話があり良かった。1事業者については、財務状況について事前の資料ではっきりと示されていたため、話し合いがスムーズに進んだ。選定会議で、預かりの時間に子どもが豊かに過ごせる工夫や具体的な内容が語られるのは、良いと思う。</p>
日高委員		<p>子どもが一番恩恵を受けることができる事業者を選定したいと考えている。一番大切なのは安全性だと考え、その目線で選定している。今後も安全性を重視して選定していきたい。昨年度を上回る事業者数を選定予定とのことだが、それに見合うだけの施設や事業所が出てきてくれることを期待したい。</p>
清水委員		<p>子どもの安全安心は重要。地域の方と理解しあって進めていくことは簡単なことではないため、子どもの安全安心を守りながら、地域に溶け込んでやっていただくことも大事な視点であると思う。</p>
事務局		<p><u>4 横浜市立保育所の民間移管にかかる法人選考委員会</u> 資料に基づき報告</p>
佐藤委員		<p>報告の通り、活動はないが、選考後のモニタリングを継続している。不適切保育や、保育の質、維持管理も重要であるので、注視していきたい。</p>
吉田委員長		<p>モニタリングの感想はいかがか。</p>
佐藤委員		<p>事務局も支援しているため非常によい状況ではあるが、園によっては、選考時とは状況が異なり、独自の保育をしている園や、厳しい状況にある園もある。保育の質が低下していかないように、移管した園同士がネットワークを組み、高めていける仕組みが作れるとよい。</p>
吉田委員長		<p>ありがとうございました。</p>
事務局		<p><u>5 横浜市病児保育事業実施医療機関選定委員会</u> 資料に基づき報告</p>
片川委員		<p>子どもが安心して過ごせるか、安全が守られるかに加えて、病児保育では、健康状態への配慮が重視される。さらに加えて、子どもが保育時間中に健康状態に応じて十分に遊べるかについても選定の一つの目安であり、重視して選定していくことが重要。病児保育を引き受けることが病院にとって非常に大変なことでもあり、手を挙げていただくこと自体が、理念をもって運営しようとしていることで、ありがたいと感じている。</p>

	<p>吉田委員長</p> <p>清水委員</p> <p>吉田委員長</p> <p>西委員</p> <p>事務局</p>	<p>選定には多くの情報が必要。事務局が丁寧に事前調査をしてくれるので安心して審議している。一方、応募用紙の記載については、その内容によって実施医療機関に温度差を感じることもある。保育職と看護職がどのように協力し、病気の状態にある子どもの生活を、どう豊かにしていけるかというところには、常に課題意識を持っている。コロナ禍で、運営が厳しい局面もあったが、行政側の配慮、工夫があり良かった。最初のころは、医師会から大変だという話も聞いたが、今では、市の仕組みづくりや対応力のおかげで、医師会とは良い協力体制の中で組み立てられていると感じる。必要な機関であるので、今後も親子が安心して日常を過ごすための安全弁として機能するように選定委員会でしっかりやっていきたい。</p> <p><b>【質疑応答】</b></p> <p>病児保育事業自体は必要だと思うが、子どもの具合の悪い時に、保護者と離れるのは、とてもハードルが高いと思う。病児保育を整える一方、社会にむけては乳幼児がどんな気持ちで育っているのか、子どもの立場で考えてみる世の中になっていくとよいと思う。</p> <p>現状、病児保育は必要な事業。病児保育の一つの役割として、病気の子どものケアについて、専門家のやり方を見て、保護者も学ぶなど、生活の中で子どもを看病するということについて、知識の伝達、経験をするという意味もあるのではないかな。</p> <p>病児保育は、子どもにとっても親にとっても、究極の子育て支援ではないか。病児の子どもの預けざるをえず、葛藤している保護者にとって、その気持ちを支え、子どもの健康を支える機関として高く評価していくべき。保護者のために簡単に預けることができる機関とみなされると残念。</p> <p>自園方式が一部の範囲でしか行われていないが、要望としては多い。しかし実態として利用数は少なく、経営が厳しい側面があるので、制度そのものを各地域で検討していければ。</p> <p>拠点事業について応募が固定化しているという話とも関連するが、特定の事業に対してではなく、地域でひろく子育て支援をやろうとするネットワーク作りが今後重要になるのではないかな。拠点やつどい、保育所や幼稚園などが連携する地域のネットワークがうまく機能すると、親も子どもも育っていくと思う。</p> <p>病児保育事業は、社会的にやむを得ない場合に安心して安全に預けられるセーフティーネットの役割を果たしているものと思います。安心して安全に預けられるよう、今後も選定、運営について先生方のご意見を伺いながら進めて参りますので、ご理解を宜しくお願い致します。</p>
<p>資 料</p>	<p>資料1：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会 委員名簿</p> <p>資料2：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会 事務局職員名簿</p> <p>資料3：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会の概要について</p>	

	資料4：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会分科会委員名簿 資料5：令和5年度実施報告及び令和6年度実施概要について 別紙1：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会運営要綱 別紙2：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会 各分科会の運営要綱
特記事項	なし